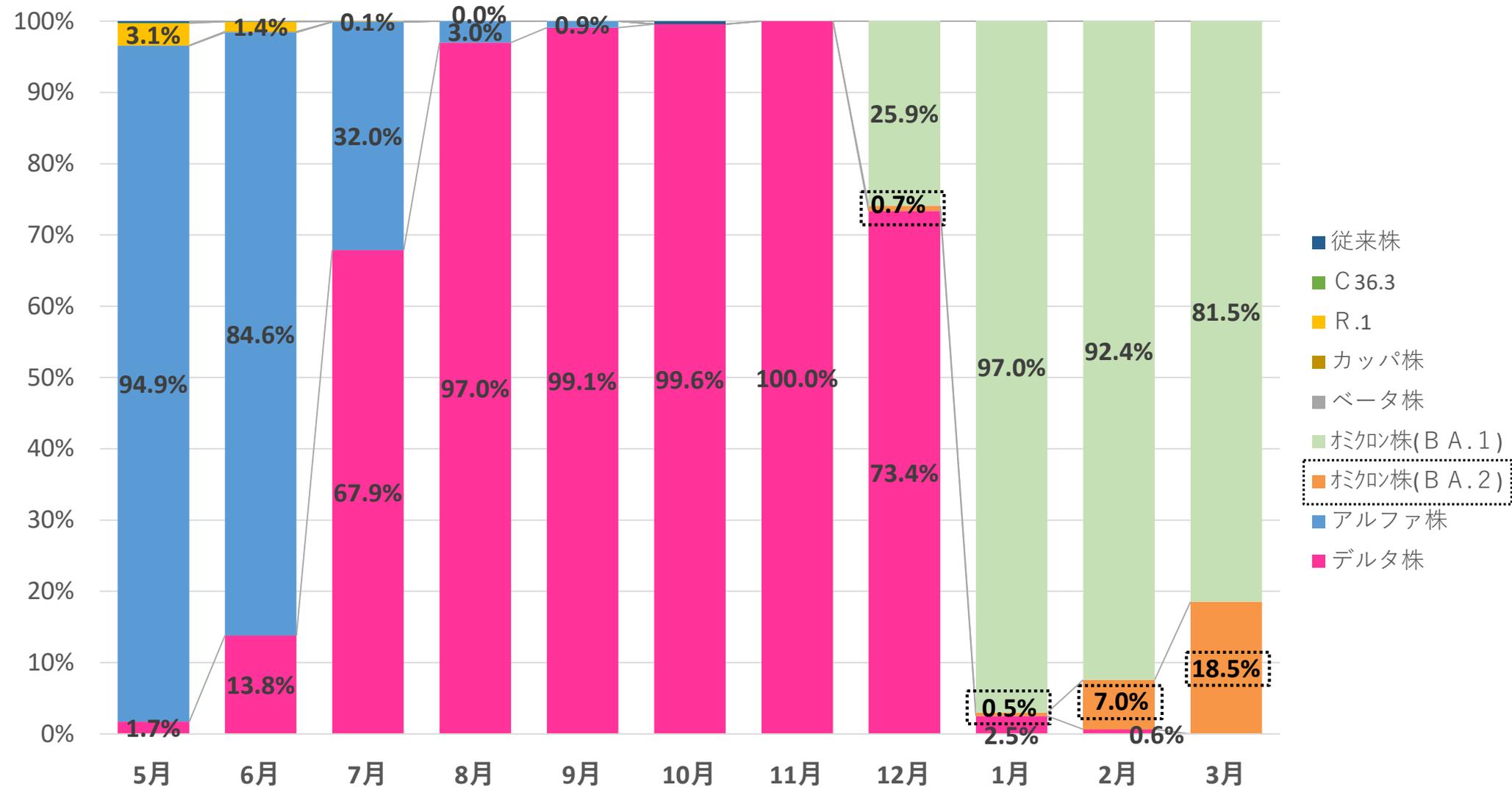


ゲノム解析結果の推移

(令和4年3月24日14時時点)



※ 都内検体の、令和3年5月から令和4年3月までに報告を受けた、ゲノム解析の実績

※ 追加の報告により、更新する可能性あり

ゲノム解析結果について（内訳）

（令和4年3月24日14時時点）

名称	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
アルファ株	2,052	2,133	2,835	354	35	0	0	0	0	0	0
デルタ株	37	348	6,008	11,423	3,833	234	89	102	260	21	0
うちAY.4.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
オミクロン株（BA.1）	0	0	0	0	0	0	0	36	10,115	3,070	101
オミクロン株（BA.2）	0	0	0	0	0	0	0	1	54	231	23
ベータ株	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
カッパ株	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
R.1	67	36	7	0	0	0	0	0	0	0	0
C36.3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
従来株	5	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0
計	2,163	2,520	8,851	11,777	3,868	235	89	139	10,429	3,322	124
健安研	55	138	161	252	55	57	26	22	824	25	0
その他	2,108	2,382	8,690	11,525	3,813	178	63	117	9,605	3,297	124

新規陽性者数（報告日別）	21,871	12,977	44,448	129,193	31,929	2,134	542	905	194,563	416,405	—
実施割合	9.9%	19.4%	19.9%	9.1%	12.1%	11.0%	16.4%	15.4%	5.4%	0.8%	—

- ※ 都内検体の、令和3年5月から令和4年3月までに報告を受けた、ゲノム解析の実績
- ※ その他は国立感染症研究所や民間検査機関
- ※ 追加の報告により、更新する可能性あり
- ※ BA.2系統の確認例のうち海外リンクが確認されているのは、12月1件、1月4件

全体に占めるBA.2の割合	0.7%	0.5%	7.0%	18.5%
---------------	------	------	------	-------

オミクロン株亜種「BA.2系統」に対応した変異株PCR検査実施状況

(令和4年3月24日14時時点)

	合計数	2.1-2.7	2.8-2.14	2.15-2.21	2.22-2.28	3.1-3.7	3.8-3.14	3.15-3.21
変異株PCR検査実施数	2433	195	90	458	315	264	1098	13
オミクロン株疑い	2343	181	76	445	304	258	1067	12
「BA.2系統」疑い	533	0	1	33	36	46	411	6
「BA.1系統」疑い	1810	181	75	412	268	212	656	6
デルタ株疑い	1	0	1	0	0	0	0	0
判定不能	89	14	13	13	11	6	31	1
「BA.2系統」疑いの割合 (判定不能は除く)	—	0%	1.3%	7.4%	11.8%	17.8%	38.5%	—

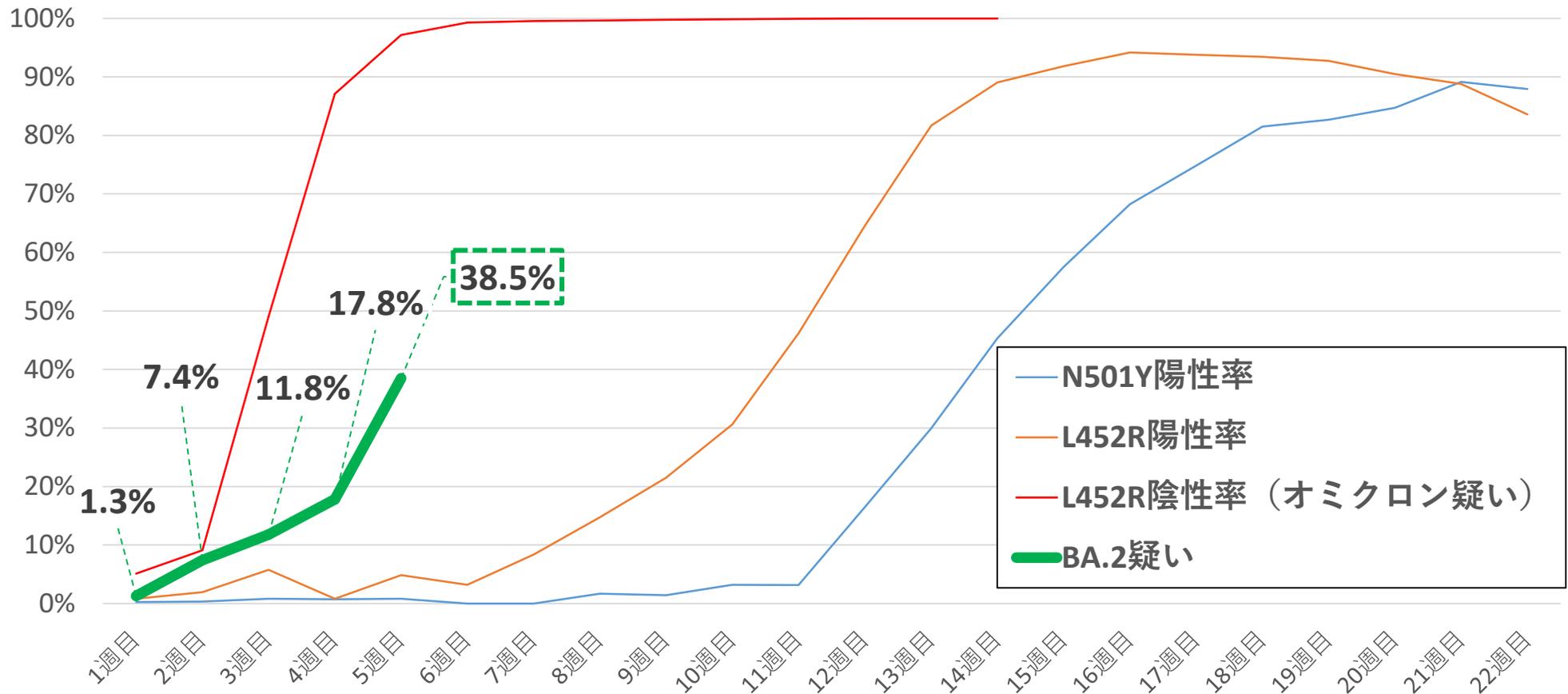
※ 健安研の変異株PCR検査実績(民間検査機関の検体を遡及して、健安研においてBA.2系統に対応した変異株PCR検査を実施した件数を含む)

【参考】日本国内におけるゲノム解析によるBA.2系統の確認状況

- 検疫1,624例(3/16時点)、国内463例(3/16時点)を確認(厚労省HP)
- 都内では、ゲノム解析により309例確認(3/24 14時時点)

都内のB A.2系統に対応した変異株PCR検査 実施状況

〔オミクロン株疑い(L452R陰性)の推移〕 (令和4年3月24日14時時点)



※ N501Yの起算点は、健安研におけるスクリーニング検査で初めて陽性が確認された1.11-1.17の週とする。

※ L452Rの起算点は、健安研におけるスクリーニング検査開始(4/30~)後、初めて陽性が確認された5.3-5.9の週とする。

なお、L452Rのスクリーニング検査は、健安研において4/30から開始した。4/29以前については、4/1から4/29に受け付けた検体のうち、検査可能な検体から抽出し、改めてスクリーニング検査を実施している。(4/29以前は5例の陽性例が検出されている。)

※ L452R陰性率(オミクロン株疑い)の起算点は、健安研におけるスクリーニング検査で初めて陽性が確認された12.14-12.20の週とする。

※ L452Rの陰性率(オミクロン株疑い)は、判定不能を除いて算出

※ BA.2疑いの起算点は、健安研におけるスクリーニング検査で初めて陽性が確認された2.8-2.14の週とする。なお、BA.2系統に対応したスクリーニング検査は、健安研において1/31から開始した。

【参考】

都内のL452R変異株PCR検査 実施状況一覧

〔オミクロン株疑い(L452R陰性)の推移〕(令和4年3月24日14時時点)

	合計数	12.2まで	12.3-12.6	12.7-12.13	12.14-12.20	12.21-12.27	12.28-1.3	1.4-1.10	1.11-1.17	1.18-1.24	1.25-1.31	2.1-2.7	2.8-2.14	2.15-2.21	2.22-2.28	3.1-3.7	3.8-3.14	3.15-3.21
新規陽性者数(報告日別)	—	—	57	118	173	263	525	5,416	22,769	60,046	106,069	127,357	108,124	102,105	78,819	72,743	60,423	52,144
変異株PCR検査実施数	134,918	29	18	77	143	176	354	3,775	15,016	26,916	30,368	10,182	7,377	13,508	8,793	7,683	7,197	3,306
健安研	2,440	29	2	28	56	52	99	386	436	465	283	195	90	104	100	71	31	13
民間検査機関等	132,478	0	16	49	87	124	255	3,389	14,580	26,451	30,085	9,987	7,287	13,404	8,693	7,612	7,166	3,293
変異株PCR検査 実施割合	—	—	31.6%	65.3%	82.7%	66.9%	67.4%	69.7%	65.9%	44.8%	28.6%	8.0%	6.8%	13.2%	11.2%	10.6%	11.9%	—
L452R変異株 陰性数 ※	124,141	0	0	0	6	14	158	3,058	13,644	24,915	28,091	9,118	6,686	12,889	8,257	7,157	6,912	3,236
健安研	1,853	0	0	0	6	7	34	286	339	408	223	181	76	95	90	68	28	12
民間検査機関等	122,288	0	0	0	0	7	124	2,772	13,305	24,507	27,868	8,937	6,610	12,794	8,167	7,089	6,884	3,224
L452R変異株 陽性数	1,754	25	17	63	111	140	164	452	401	181	124	33	15	17	8	1	2	0
判定不能件数	9,022	3	1	14	26	22	32	265	971	1,820	2,153	1,031	676	602	528	525	283	70
L452R変異株PCR検査 陰性率	—	—	0.0%	0.0%	5.1%	9.1%	49.1%	87.1%	97.1%	99.3%	99.6%	99.6%	99.8%	99.9%	99.9%	99.99%	99.97%	100.0%

※ L452R変異株陰性124,141件のうち、13,631件がゲノム確定済み

※ 12月以降のL452R陰性(デルタ株ではない)は、オミクロン株であることが推測できることからL452R陰性数を計上

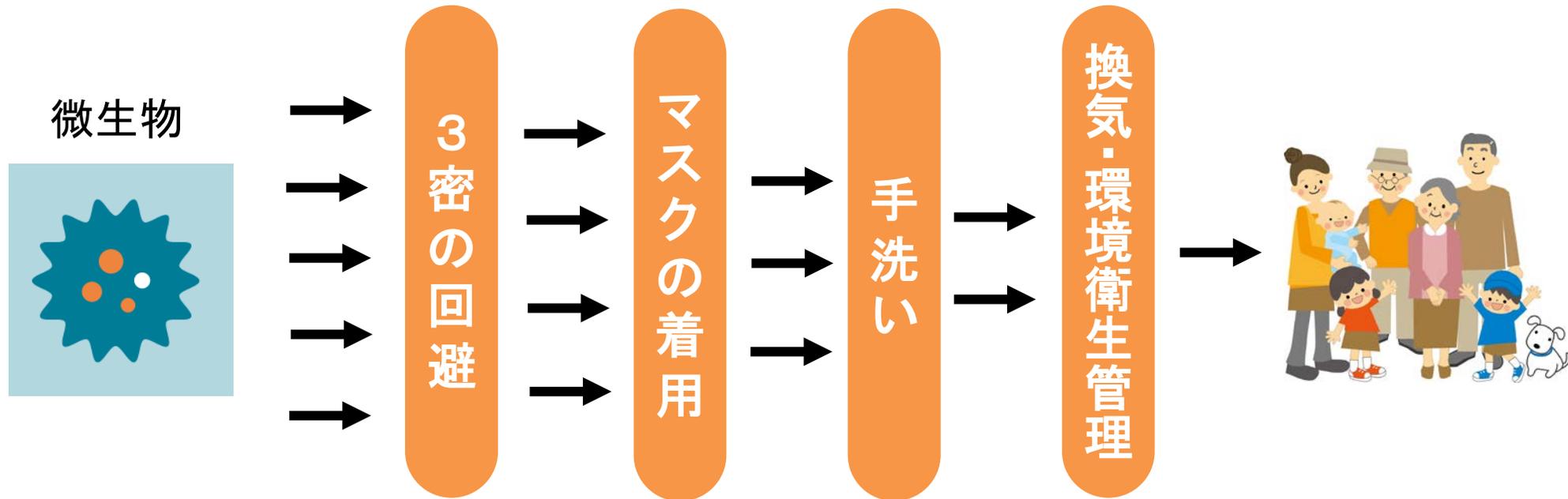
※ 民間検査機関等の実施数については、追加の報告により、更新する可能性がある

※ L452R変異株PCR検査陰性率は、判定不能件数を、検査実施数から除外して算出

※ 「12.2まで」の検査結果に、アルファ株疑い1件を計上していないため、検査実施数と結果の件数が合致しない。

徹底した感染症対策の継続

- ✓ 微生物の伝播を100%防ぐことは不可能
- ✓ ワクチン接種(3回目)や基本的な感染症対策の継続など総合的な感染対策によってリスク軽減を図っていく



ワクチン接種後であっても、今後の継続した感染症対策が極めて重要で、円滑な社会・経済活動の鍵となる